

令和2年度 府立久美浜高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p>本校の歴史と伝統を踏まえ、校訓「意欲、克己、創造」の精神を培い、社会に貢献できる人材の育成を目標とする。</p> <p>1 総合学科の特色を生かし、社会で求められる力を育成する。</p> <p>2 地域の将来を担う若者力を育成する。</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 久美高研究発表会「寄せN.A.B.E.」は、前回の反省を生かしてより良いものとなり、生徒の達成感や充実感が高まった。また、外部にも本校の特徴的な取組の成果を発信することができた。</p> <p>(2) 探究活動をとおして地域の現状への問題意識を高めるとともに、課題解決能力や表現力を向上させることができた。</p> <p>(3) ボランティア部以外にも、のべ378名の生徒がボランティア活動に参加し、その満足度は100%であった。</p> <p>(4) 学科改編・学舎制スタートに向けて、定期的に会議を開き、準備を進めることができた。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 家庭学習時間が不足している。家庭学習習慣の定着に効果のあった方法を校内で共有し、学校全体で学力向上に取り組む必要がある。</p> <p>(2) 探究活動について、長期計画の立案と教員間での目標の共有が不十分であった。</p> <p>(3) 規範意識を醸成し、健全な生活態度を育成するために、全教職員による日常的な指導が必要である。</p> <p>(4) 生徒一人一人の希望進路実現のため、関係教員の連携を強化し、組織的に取り組む必要がある。</p>	<p>1 学習指導の充実</p> <p>(1) 探究活動の実施や、授業への探究的な手法の導入により、地域創生への意識を高めるとともに、社会人基礎力と主体的に学びに向かう姿勢（家庭学習を含む）を育成する。</p> <p>(2) 地域や網野高校と連携した教育活動を展開し、新しい価値の創造に取り組み、それに関わる様々な手法等を身に付けた生徒を育てる。</p> <p>(3) 一人一人にきめ細かな学習指導を行うとともに、計画的にキャリア教育を推進して、希望進路の実現を図る。</p> <p>2 豊かな人間性の育成</p> <p>(1) 全教職員による日常的な指導により、規範意識の醸成と健全な生活態度の育成を図る。</p> <p>(2) 部活動・ボランティア活動等への積極的な参加を促し、自己の可能性に挑戦する姿勢を養う。</p> <p>(3) 地域連携の取組や発表の機会を多く持つことで、地域創生への意欲や自己有用感を高める。</p> <p>3 広報活動の充実</p> <p>(1) 本校の取組の成果を広く発信することで、地域の理解や協力を得るとともに、生徒の自己有用感を醸成する。</p>

(注) 具体的方策についての目標は【 】内に記載。なお、久は久美浜高校、緑は丹後緑風高校久美浜学舎、久・緑は両校を対象とした目標。

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の成果を、保護者や中学生に対して分かりやすくタイムリーに知らせるために、学校だよりやホームページを充実させる。 【学校だよりの発行：10回 久・緑】 【ホームページの更新：毎日 久・緑】 		
	安心・安全・快適な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な安全点検の実施により、危険箇所を早期に発見し修繕を行う。 ・校内の整理整頓により、快適な教育環境の整備を図る。 ・光熱水費等の節減により、学校運営費の予算を確保する。 【学校評価アンケートでの教育環境満足度75%以上 久・緑】 		
	教職員の働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や業務内容の精選やICT機器の活用等により、教職員の業務の効率化を図る。 【原則午後8時までの退勤：100% 久・緑】 		
家庭・地域との連携	家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭連絡を密に行うことで、信頼関係を築き、保護者と教育方針を共有して指導にあたる。 【学校評価保護者アンケートでの「学校の様子がよく分かる」の肯定的評価が80%以上 久・緑】 		
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地元農家（OB）や農林行政機関、JA、大学等との連携を密にすることで、教育内容を充実させるとともに、地域貢献にもつなげる。 【上記機関等との連携活動：15回以上 久・緑】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・「地域」をテーマにした探究活動を実施し、地域の社会人講師の協力を得て、学習内容の充実を図る。 【地域の社会人講師による指導：5回以上 久・緑】 		
学習指導	授業規律の確立 「時を守り、場を清め、礼を正す」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切にすることを育てるために、授業規律と教室内の整理整頓の指導を徹底する。 【「授業規律カード」による指導複数回生徒：0件 久・緑】 		
	主体的な学びの姿勢・学力向上 (教員の教科指導力向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力について、客観的なデータに基づく分析を行い、授業等での指導の改善につなげる。 【2年生ステッププログラムGTZ：第1～3回で1段階以上の上昇の生徒が60%以上 久】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・目標の設定と振り返りの実施、ICT機器や様々な教材・教具の活用、探究活動の手法の導入等による授業改善を進めることにより、生徒の学力の向上と主体的に学びに向かう姿勢の育成を図る。 【「公開授業・研究授業週間」の教員授業参観：年間1人2回以上 久・緑】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況に応じて課題の内容や提示の仕方を工夫し、家 		

		<p>庭学習の習慣を身に付けさせる。 【<u>調査前の家庭学習時間 1 日平均120分以上の生徒の割合：50%以上</u> <u>欠・緑</u>】</p>			
	遠隔教育・連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度からの遠隔教育システムを活用した単位認定授業の開始に向けて、網野高校と連携して研修を進める。 網野高校との農商連携を進め、旧海部小学校食品加工施設を有効に活用し、地域連携を図るとともに、丹後の新しい食の創造に向けての基礎を構築する。 <p>【<u>農商連携事業の推進</u> <u>欠</u>】</p>			
生徒指導	すべての生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な人権を侵害する行為に対して、全教職員が毅然とした態度で指導する。 日常の生徒観察を徹底し、毎週1回アンケート調査を行い、問題の早期発見、早期指導に努める。 			
	自立・自律した生活習慣の確立と生徒の主体的な取組の促進	<ul style="list-style-type: none"> さわやかな身だしなみ、あいさつ励行、整理整頓の指導を通して基本的生活習慣を身に付けさせる。 部活動に参加する生徒を増やし、活動の活発化に努める。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 積極的にボランティア活動に参加する。 <p>【<u>ボランティア活動参加生徒の満足度：肯定的評価90%以上</u> <u>欠・緑</u>】</p>			
進路指導	希望進路実現に向けての個別指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 就職、進学ともにミスマッチとならないよう、面談等を充実させ、自己理解の深化と進路意識の高揚を図る。 <p>【<u>2・3年生との全員面談の実施</u> <u>欠</u>】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後講習や土曜講習（3SP）、教科実習等で専門知識や技術を習得できるよう、関係教員が連携し適切な指導を行う。 <p>【<u>希望進路実現率90%以上</u> <u>欠</u>】</p>			
	キャリア教育を念頭に置いた計画的な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 計画的・組織的な指導により、キャリア教育の充実を図る。 生産科学系列、福祉系列の生徒の関連分野への就職・進学を支援する。 			
健康安全指導	健康で安全な生活を営むための実践的能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 保健室から健康情報を発信し、自ら健康管理できる生徒を育成する。 <p>【<u>保健だよりの毎月1回発行と、健康情報のHPへの掲載：年5回以上</u> <u>欠・緑</u>】</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> 食育を推進し、朝食を摂る習慣や食品の成分を考えて食事を選択できる力を身に付けさせる。 <p>【<u>食育キャンペーン実施</u> <u>欠・緑</u>】</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> 「時を守り、場を清め、礼を正す」を合言葉に、美化・掃除活動の指導を行う。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 授業や体育行事での事故防止を図るとともに、安全教育を行い、大きな怪我や事故を防ぐ力を身に付けさせる。 <p>【<u>実習中の事故、怪我：0件</u> <u>欠・緑</u>】</p>			

		【学期に1回以上の体育施設の安全点検実施 <u>久・緑</u> 】				
	教育相談・特別支援に関する情報交流並びに、教育相談会議の充実	・生徒の状況について、教員間の情報交換の機会を増やし、スクールカウンセラー及び専門機関と連携した教育相談・特別支援を進める。 【特別支援の校内研修の実施 <u>久・緑</u> 】				
人権教育	人権教育の構築	・全教職員で高い人権意識を持つ。 ・様々な教育活動の機会を利用して生徒の人権意識の高揚に取り組む。 【教職員研修の実施 <u>久・緑</u> 】				
	人権意識の向上	・「LHR」「総合的な学習（探究）の時間」や学校行事などを活用して計画的な指導を行うとともに、日々の学校生活を通じて、他者への思いやりの意識を育む。				

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に向けた改善の 方向性	
-------------------	--